

り亞鉛工業は目下一種の流行性を帯ぶるに至れり斯業の前途如何に就いては亞鉛の市價大關係ある可く戰前一噸二十一磅なりしもの戰後頻りに暴騰し本年二月百十磅を告げたるに昨今は六十六磅となり其高低の激しきだけ殆んど前途を豫測するに苦むも大體上戰亂の爲めに破壊されたる獨白の製鍊所は之れか復舊に相當の時日を要すると共に戰後軍需品の補充職に行はる可く世界の需要は倍々増加するの一方なるを以て當分其好況を持続するは疑ひなく必ずしも一時の市價騰落に依りて全體の需要を悲觀するに足らざるか如し唯無數の小工場を統一し大規模の製造に改め技術の進歩を圖り倍々海外に發展を試むるの途に努力するあるのみ最近急激の發達を爲したる日本の亞鉛工業は漸く世界の注目を惹かんとす。

●木造船の建造 造船術の進歩に隨ひ我國に於ても三百噸以上の船舶は總て鐵材を以て建造せられ偶々木造船を製造すれば之を恥辱とする迄に進みしか歐洲戰爭以來造船界は一層活況を呈して船腹不足の急に應せんとする鐵材の不足と價格の騰貴は造船界に變調を來さしめ最近木造の船舶相踵いて建造せらるゝに至れり目下各造船所に於て新造中のものを擧ぐれば大阪三原造船所の八百噸二隻(内一隻は計畫中) 畫中) 藤永田造船所の七百七十噸二隻(内一隻は計畫中) 岡本造船所の千噸二隻(内一隻は計畫中) 七百五十噸一隻空造船所六百噸二隻(一隻は竣成) 七百噸七百五十噸各一隻小

倉造船所の七百噸一隻棧橋會社の六百五十噸一隻瀬戸内木江造船所の千三百噸(計畫中) 八百噸六百噸五百噸各一隻鳥羽竹中造船所の八百五十噸一隻同江崎造船所の三百四十噸一隻伊勢大湊市川造船所の千噸一隻同松崎造船所の五百五十噸三百四十噸各一隻總計二十二隻其噸數一萬六千噸に達し尙木造船の新造益々増加の傾向を示せり而して此の如き變調は造船界の爲めに悲しむべきことなりと雖も歐洲戰爭の終局以前は到底順調に復すること能はざるへしと。

●遞信省船用品検査所 十日の官報勅令第百七十七號を以て遞信省官制中改正の件を公布即日施行の旨發表せられたるか其要領左の如し

第六條に管船局船用品検査所を置き船用品の検査及試験に關する事項を掌らしめ遞信大臣は必要と認る地に船用品検査所の支所を置き船用品検査所の事務を分掌せしむるを得船用品検査所長及支所長は遞信技師を以て之に充つを加へ更に専任技師四十九人を五十二人に屬專任百六十人を百六十三人に技師六十二人を七十三人に増加す。

右に付若宮管船局長の談に依れば曩に三十七議會の協賛を経たる船用品検査所は既に其敷地を大阪安治川口に決定し設備工事中なるか該機械は英國會社に注文中なるを以て近く到着次第据付をなす筈なり而して今回遞信省官制を改正し技師一名技師一名を該検査所に專屬配置する事となりたり尙明年度は更に技師技師各一名を増加する筈にして愈々其事業を開始するは明年十月頃なるへしと